

**製品名: S100A10 (14G7) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe17465**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IF-P
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:2000-1:20000,IHC 1:50-1:100,IF-P 1:50-1:100
分子量	11kDa

**抗原情報**

遺伝子名	S100A10
別名	Protein S100-A10; Calpactin I light chain; Calpactin-1 light chain; S100A10; ANX2LG; CAL1L; CLP11;
遺伝子 ID	6281.0
SwissProt ID	P60903
免疫原	ヒト S100A10 の合成ペプチド

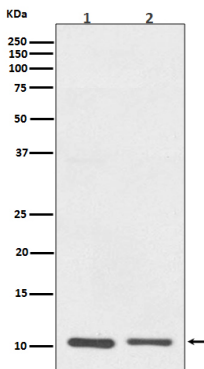
## 背景

S100A10は、B型肝炎 (Hep B) ウイルスポリメラーゼの細胞シャペロンとして機能します。B型肝炎ウイルスポリメラーゼは通常、細胞質にのみ局在しますが、S100A10が存在すると一部が核に局在するため、ウイルス複製過程においてS100A10と細胞内カルシウムが役割を果たしていることが示唆されます。S100A10はANXA2/p36の二量体形成を誘導するため、ANXA2モノマーがチロシン特異的キナーゼの優先標的となる (in vitro) ことから、タンパク質リン酸化の調節因子として機能する可能性があります。

## 研究分野

-

## 画像データ



(1) A431 細胞溶解物、(2) RAW264.7 細胞溶解物における S100A10 発現のウエスタンブロット解析。